

うべ ECO チャレンジ (えーこっちゃ)
[第三期宇部市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)]
平成28年度の取組結果

数値目標に対する結果については、市全体の評価を行うとともに、廃棄物処理事業、上下水道事業、学校など市民へのサービスを前提とする部門があることから、事業特性を勘案し、次の表1のとおり、オフィス系、市民サービス系、事業系の3つの部門に分類して、部門別の評価も行っています。

部門	事業と環境負荷の関係	内容	主な庁舎・施設
オフィス系	執務室での業務が環境負荷に大きく影響する	市民サービス系・事業系を除く市の事業	本庁、市民センター 総合支所など
市民サービス系	利用状況が環境負荷に大きく影響する	保育、文化、教育、福祉などの事業	市立保育所、市立学校、記念館など
事業系	業務量、処理量が大きく環境負荷に影響する	廃棄物処理事業、市場運営事業、上下水道事業、交通事業	ごみ焼却場、下水処理場など

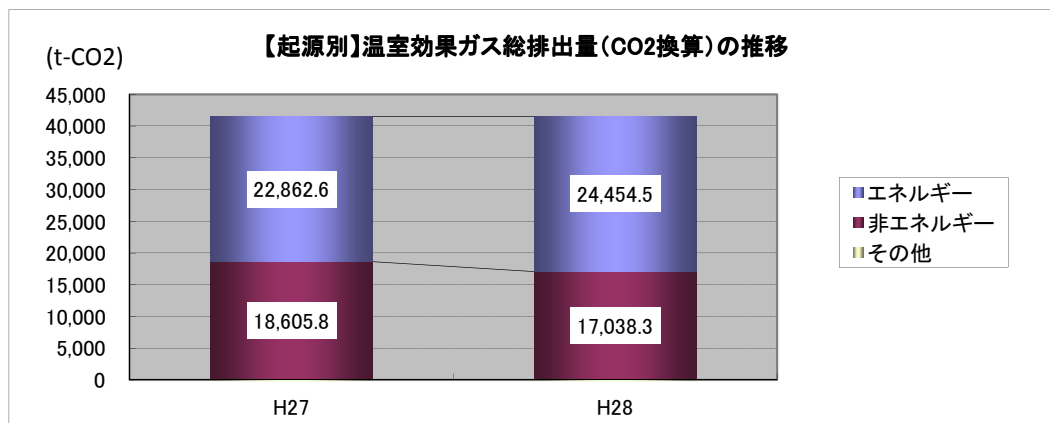
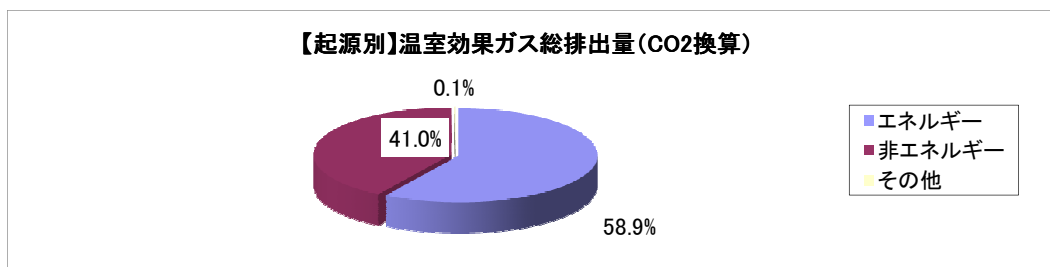
1 温室効果ガス排出量の結果

(t-CO₂)

		平成27年度	平成28年度	削減率	目標
温室効果ガス排出量 (市全体)		41,520.5	41,542.6	-0.1%	対前年度比 2%減
起源別 排出量	エネルギー	22,862.6	24,454.5	-7.0%	
	非エネルギー	18,605.8	17,038.3	8.4%	
	その他	52.2	49.8	4.5%	
部門別 排出量	オフィス系	1,528.7	1,572.7	-2.9%	
	市民サービス系	7,283.4	7,448.8	-2.3%	
	事業系	32,708.5	32,521.1	0.6%	

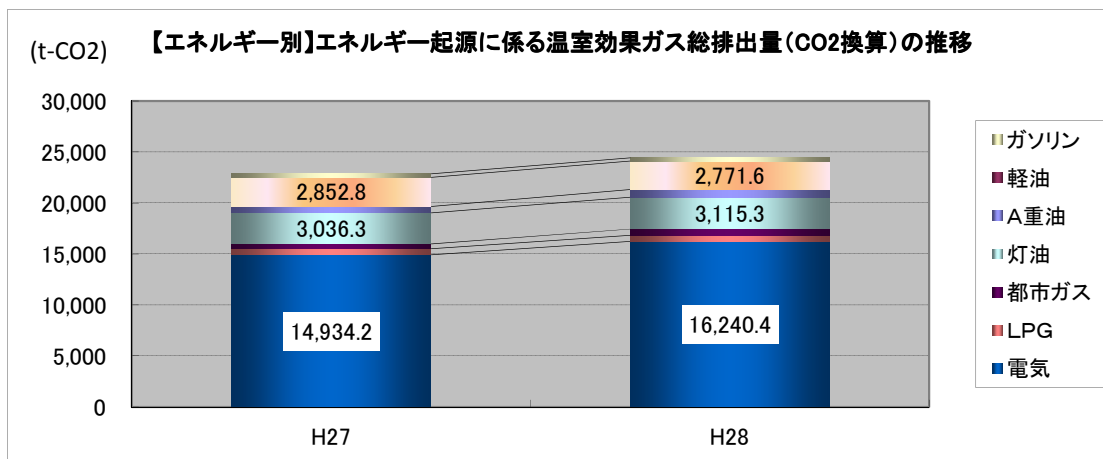
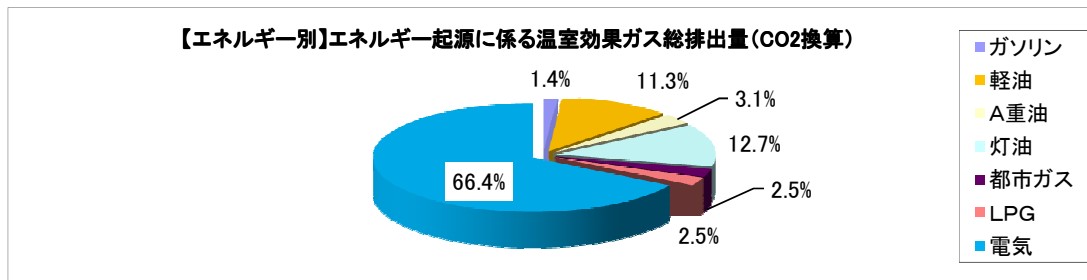
【分析結果1-1:起源別】

総排出量のうちエネルギー起源によるものが58.9%、非エネルギー起源によるものが41%の割合となっている。エネルギー起源によるものは、33日連続真夏日を記録した影響で冷房使用が増えたこと、東部浄化センターの新施設が稼働したことにより大幅増加となった。また、非エネルギー起源によるものは、一般廃棄物焼却量の減少、可燃物プラスチック類の含有率の改善により8.4%の削減となった。



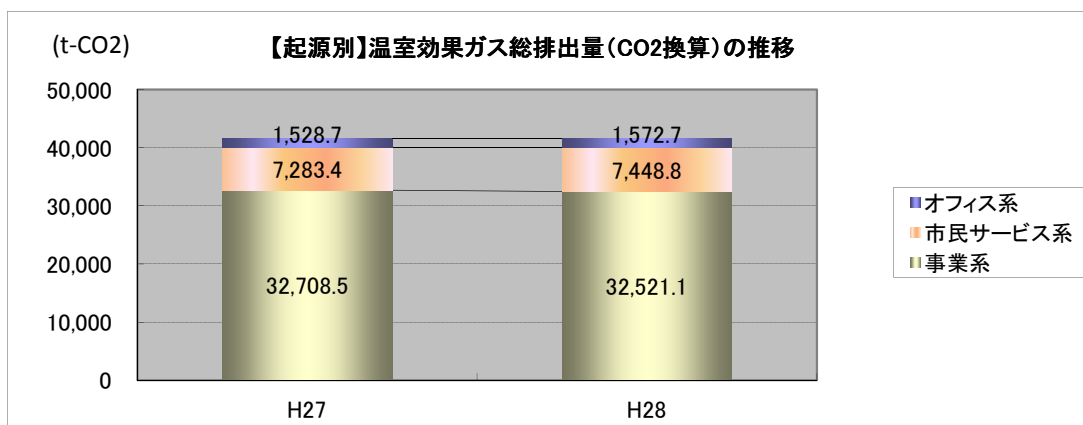
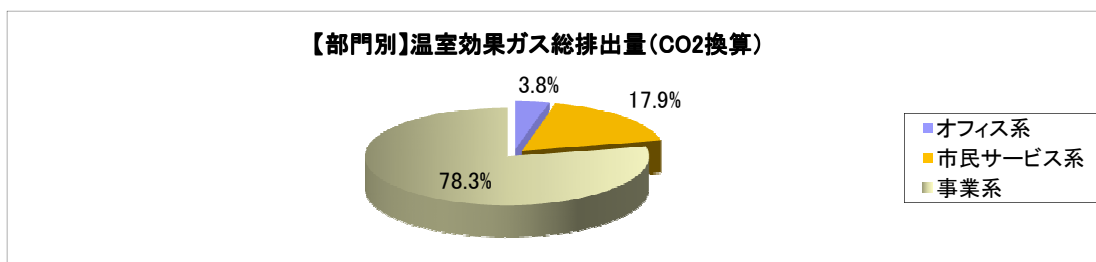
【分析結果1-2:エネルギー別】

エネルギー別にみると、使用量の多い電気、軽油、灯油が総排出量の90.5%を占め、これらの増減が全体の排出に影響を与えるが、平成28年度は軽油が削減されたものの、ごみ焼却場で使用される灯油の増加と、東部浄化センターの新施設稼働による電気使用量の大幅な増加があり、CO2排出量の削減に至らなかった。



【分析結果1-3:部門別】

総排出量の78.3%を占める事業系排出量が目標達成を左右する。エネルギー起源の増加分と非エネルギー起源の削減分が相殺され、わずかに改善されたことで総排出量の増加は抑制されたものの、夏季のエネルギー使用量の増加によるオフィス系と市民サービス系の排出量の増加のため削減とはいかなかった。



2 温室効果ガス削減のための取組の結果

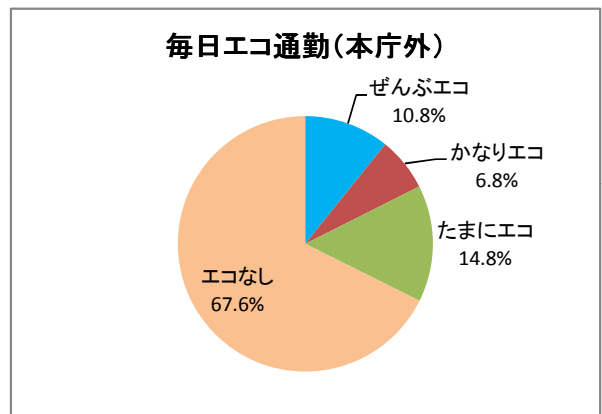
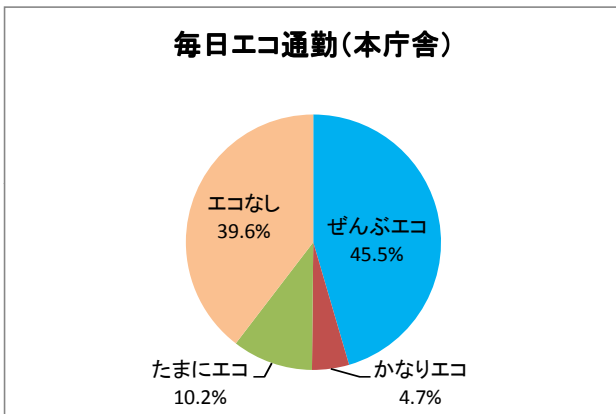
平成28年度は連続した真夏日の影響から、主要な施設でエネルギーが増加し、数値目標を掲げた11項目のうち2項目のみの目標達成となった。

目標番号	項目	分類	H27	H28	削減率	目標	取組状況
①	グリーン購入率 (%)	市全体	99.7%	99.9%	-	購入率 100%	調達の難しいケースや単価契約物品が適合品ではない場合を除き、各課でグリーン購入を実施できている。
②	コピー用紙 (千枚)	市全体	30,027.7	31,079.8	-3.5%	前年度比 2%減	市民サービス系の小学校における学力向上対策のための学習プリントの使用量が大きく、全体としては3.5%増加となった。小中学校を除けば、前年度比0.5%の微増だが、目標を達成した課の数は変わらず、新設された課等での使用量が上乗せとなった。
		オフィス	12,039.3	12,111.3	-0.6%		
		市民	16,779.0	17,762.1	-5.9%		
		事業	1,209.4	1,206.4	0.2%		
③	燃やせるごみの総排出量 (t)	オフィス	16.7	16.1	3.9%	前年度比 2%減	一斉文書廃棄での排出量が前年度の大幅増加との比較で減少したことから目標達成となった。
④	ガソリン使用量 (kl)	市全体	145.2	144.6	0.4%	前年度比 2%減	オフィス系において、共用公用車の走行距離が、6,751km減少し、燃料使用量も大幅に削減されたが、各課所有分では、地域福祉関係業務での使用量が増加しており、全体としては目標達成に至らなかった。
		オフィス	109.4	109.5	-0.1%		
		市民	4.8	4.5	5.9%		
		事業	31.0	30.5	1.4%		
⑤	軽油使用量 (kl)	市全体	1,088.9	1,057.9	2.8%	前年度比 2%減	ごみ収集車と市営バスの燃料が全体の97.4%を占める。ともに車両減と収集・運行ルートの見直しによる削減が進められている。
		オフィス	108.7	95.7	12.0%		
		市民	2.0	2.1	-5.3%		
		事業	978.1	960.1	1.8%		
⑥	重油使用量 (kl)	市全体	230.5	284.1	-23.3%	前年度比 2%減	下水処理施設において消化槽の温度管理用のボイラーでの使用量が大幅に増えたことや、真夏日の連続から空調燃料として重油を使用する施設で軒並み使用量が伸びたことで、全分野で増加となった。
		オフィス	0.7	0.8	-18.4%		
		市民	194.1	208.1	-7.2%		
		事業	35.6	75.2	-111.0%		
⑦	灯油使用量 (kl)	市全体	1,219.4	1,251.1	-2.6%	前年度比 2%減	冬季の暖房用途は減少が目立ったが、事業系のごみ焼却場での助燃用途が大幅に増加し、これに次ぐ使用量の桶こもればの郷、共同調理場でも増加となったため、目標を達成できなかった。
		オフィス	1.9	1.5	21.6%		
		市民	300.4	292.5	2.6%		
		事業	917.1	957.1	-4.4%		

目標番号	項目	分類	H27	H28	削減率	目標	取組状況
⑧都市ガス使用量 (千m ³)		市全体	210.0	263.6	-25.5%	前年度比 2%減	全分野において、本庁舎、市民館、総合福祉会館、シルバーふれあいセンター、保健センター、上下水道局庁舎等のガス式空調を採用している施設での使用量が増加した。
		オフィス	50.1	75.5	-50.6%		
		市民	146.8	171.9	-17.1%		
		事業	13.1	16.2	-23.9%		
⑨LPガス使用量 (千m ³)		市全体	94.5	97.4	-3.1%	前年度比 2%減	給湯や調理に関する使用量は大きな変化はなく、微増微減の施設が多い。市民サービス系は、ガス式空調を備える船木ふれあいセンターや厚南会館とガストーブを使う小学校での使用量増加が影響した。
		オフィス	1.7	1.3	24.7%		
		市民	90.1	93.6	-3.9%		
		事業	2.6	2.5	5.7%		
⑩電気使用量 (千kWh)		市全体	26,908.4	29,262.5	-8.7%	前年度比 2%減	夏季に真夏日が続き、冷房の使用時間が延びたことで全分野で使用量が増加した。さらに事業系では、東部浄化センターにおいて新施設の稼働が相次いだことで大幅な増加となった。
		オフィス	1,509.9	1,551.5	-2.8%		
		市民	9,171.3	9,292.4	-1.3%		
		事業	16,227.3	18,418.6	-13.5%		
⑪水道使用量 (千m ³)		市全体	459.3	475.8	-3.6%	前年度比 2%減	オフィス系では、真綿川白濁対応によるポンプ場での希釈、市民サービス系では、学校のプール関係と施設の老朽化による漏水発生、事業系では、東部浄化センターの新施設稼働に加えて漏水発生による増加が大きく削減に至らなかった。
		オフィス	19.6	16.5	15.5%		
		市民	315.2	315.4	-0.1%		
		事業	124.5	143.8	-15.5%		

【エコ通勤基準】

目標番号	項目	⑫	毎日エコ通勤						
	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤 該当	エコ通勤 非該当	計	実施率 H28	実施率 H27	取り組み状況	
本庁舎	ぜんぶエコ	100%	234	28	262	45.5%	47.1%	エコ通勤該当者は68.1%と前年度比4%増加した。各部署で、朝礼などの機会を利用して、取組周知・呼びかけを行うなど積極的に取組を進めたものの、毎日エコ通勤実施率は45.5%、かなりエコを含めて50.2%と前年度比で2.2%減少している。	
	かなりエコ	50%以上100%未満	18	9	27	4.7%	5.3%		
	たまにエコ	50%未満	34	25	59	10.2%	11.5%		
	エコなし	0%	106	122	228	39.6%	36.1%		
	H28年間計			392	184	576			
本庁外	ぜんぶエコ	100%	75	18	93	10.8%	10.7%	エコ通勤該当者は、45.9%と前年度比で0.3%減少した。出先職場などでは、立地条件・勤務形態などにより取組が難しい状態で、毎日エコ通勤実施率は10.8%と変わらず、かなりエコを含めて17.6%と前年度比で1%の増加であった。	
	かなりエコ	50%以上100%未満	36	23	59	6.8%	5.9%		
	たまにエコ	50%未満	62	66	128	14.8%	13.9%		
	エコなし	0%	224	361	585	67.6%	69.6%		
	H28年間計			397	468	865			



目標番号	項目	⑬	エコ通勤デー			
	区分	通勤者数	実行者数	実施率H28	実施率H27	取り組み状況
	本庁舎	567	302	53.3%	54.9%	本庁では実施率が53.3%となっているが、出先職場などでは、立地条件・勤務形態などにより取組が難しくなっており、23.5%と低い実施状況となっている。
	本庁外	801	188	23.5%	22.8%	
	H28年間合計	1,368	490	35.8%	36.1%	

